

# まらまら

今、ひとりひとりが...

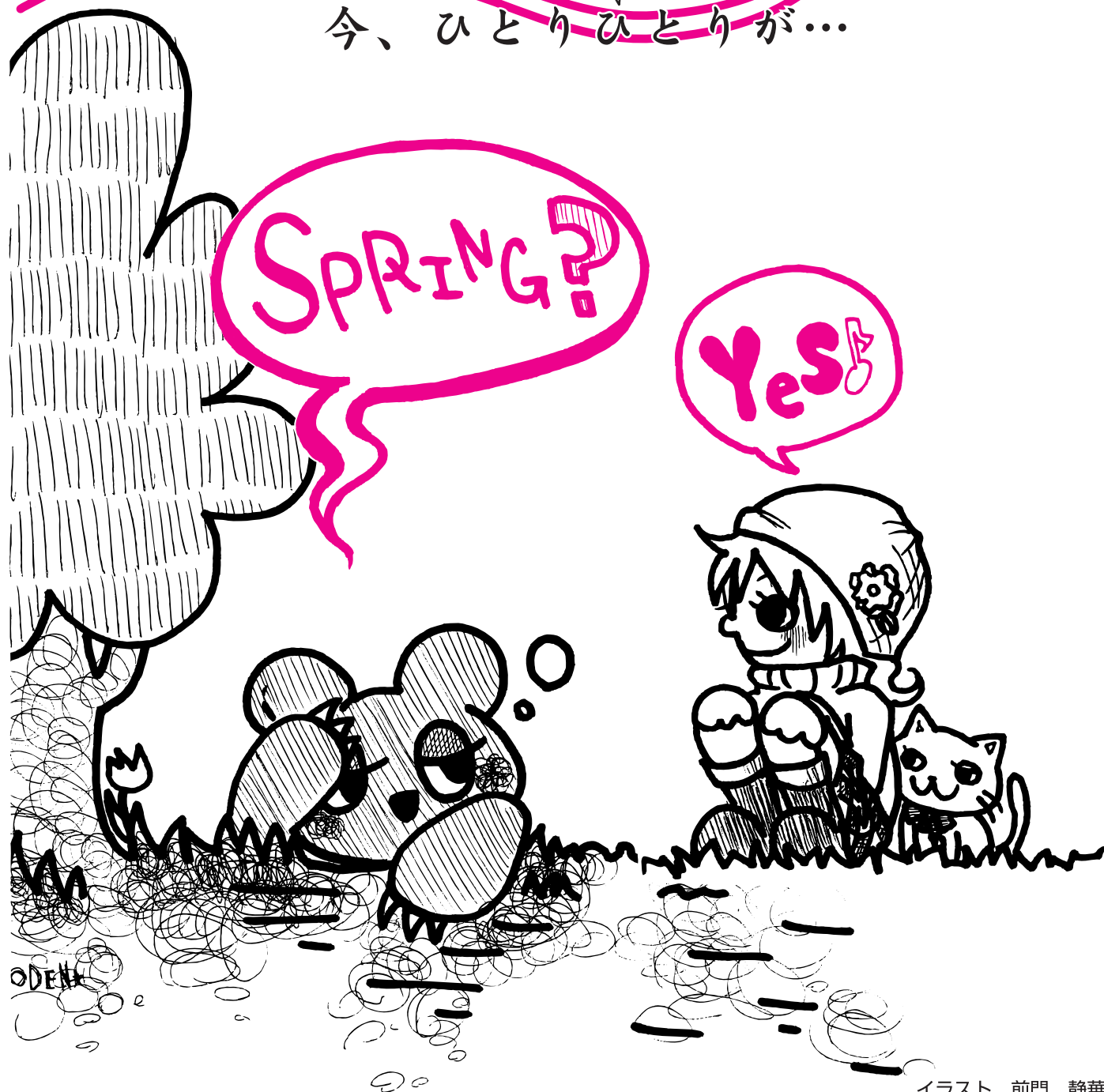


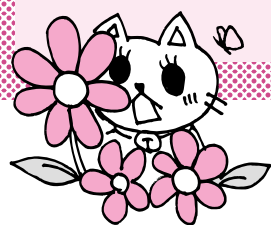
イラスト 前門 静華

|      |                                 |      |
|------|---------------------------------|------|
| 特別企画 | 新春インタビュー<br>「市長、男女共同参画もお願いします。」 | ・・・2 |
| 特集   | いきいき未来いが2009                    | ・・・4 |
|      | 男女共同参画レポート                      | ・・・7 |
|      | ハートにきらきら                        | ・・・8 |

2009春号  
第17号

## 特別企画・新春インタビュー

# 「市長、男女共同参画も、おねがいします。」



新年早々二月十二日、公務の忙しい合間をぬって、インタビューが実現しました。

―内保市長は、どのようなお子様でしたか？

けっこうやんちゃでした。でも、子分タイプで、先輩からいろんな遊びを教えてもらい、田んぼの中を走ったり、けっこう危ない遊びもしていました。

―子どもの頃の将来の夢は？

獣医に、…動物の医者になりたかったような気がします。

―どのようなタイプの青年でしたか？

スポーツは、好きですけど得意ではなかったですね、どちらかというと、本を読んだり、文章を書いたり読むのが好きな感じでした。

―文章を書くことが好きということ、ラブレターなどを…

書くことが好きだったからたくさん書きました。

出すことはなかったですが…。

―奥さんは、ラブレターで射止めたのですか？

いえ、まったく違いますけど。(笑)

―ご家庭での様子は？

もともと結婚をするについて、二人の目標があつて、共稼ぎをずっと続けるためには、お互いに助け合わないといかん、と。けっこう役割分担をしてきました。

料理をするのも好きですし、子どもの世話も、もちろんしました。朝七時三十分に出勤するために、自然に意識することなくやってき



ました。

―「きらきら」は、読んでいただいていますか？

はい、正直申し上げて、記事についての取材や資料集めなど編集員さんは大変だなと思いました。行政にない発想で明るい印象です。

一月三十日に岐阜県大垣市で「男女共同参画都市宣言サミット in おおがき」に、パネリストとして出席してきました。そこで、市民編集員さんが作っている「きらきら」

をアピールしようと思います。

―「男女共同参画センター」が駅前再開発ビルに、できるということとで楽しみにしています。

センターへの考えをお聞きたい。

今の（計画）で決まりではなく、市長として4・5階については、私の気持ちをを入れて見直しをしていきます。

これから実施設計に入るので3月までにどうやるべきかをそれぞれの担当と話し、可能なかぎり見直しをし、市民の皆さんの声もきいて、しっかり取り組んでいきます。

―安心しました。

市民が気軽に利用できるセンター、男女共同参画の学習交流の場を望んでいます。

編集員さんの声も取り入れさせていただきますので、お聞かせください。

―伊賀市の男女共同参画について、市長のお考えをお聞かせください。―

私自身四〇年を超える行政経験をしてきましたが、時代の変化があります。今は、「住民自治」という時代に入ってきているということです。

主役は市民、私自身の姿勢として、常に市民の皆さんと正面から向き合って色々議論をし、話を伺いながら行政をすすめていくべきと考えています。

個性を大切に、お互いを認めあうのが基本です。それがひとつのまちづくりと考えます。

男女共同参画については、審議会の女性の参画などは進んでいます。また、この春から消防職員に女性が一名入りました。しっかりと頑張ってくれています。

これから、あらゆる分野で女性のかたも「わたしも、やるか!」と出てきてくれるのを期待しています。



伊賀市全体では、まだまだ男女共同参画社会はこれからです。行政力もこれからさらに、すすめていきたいです。

私も、各地域で話す機会があれば、きっちり話していきたいと思っています。

―これからの社会をつくる若い人たちに、男女共同参画社会を推進していくにはどうしたらいいと思われませんか?―

実効性があるかどうかわかりませんが、若い人達向けのクッキング教室で、性別を問わず、ケーキやパンと一緒に作るなど一つの目的にむかっただけの共同作業をするのは、どうでしょうか。

何か目標に向かってやらないと。パンフレットなど印刷したものを配り読んでもらうことより、「実際に、何かをやる」ことが、意識付けの元になると思います。

―伊賀市として、企業への推進もしていただきたい。―

新しい伊賀市の住民自治基本条例、住民自治協議会などには企業の参加についても、うたわれています。

「住民が主役」という取り組み方なので、もっともそれぞれ企業の方もまちづくりに参画しているんだと、きちっと理解してもらうことが非常に大事になってきます。

企業が集まる場もありますので、私が、トップセールスで、訴えていきたい。



―年頭に「一文字で「輝(かがやき)」と、お書きになられました。一人ひとりが輝くまちづくりとは?―

私の思いとしては、市民一人ひとりが、それぞれの個性を活かし「私は、こういうことで輝いている。」という思いの市民がふえればその地域が輝いてくる。

男性も女性も互いに支えあうお互いがそういう気持ちにならなければ、気持ちはずれていては共生(男女共同参画)社会の実現は難しい。同じ気持ちになって「輝いて」もらいたい。

―ありがとうございました。―

若い人が同居、援助してもらえなくても住める社会的支援が充実した伊賀市になってほしいです。

また、女性が仕事を続けられる職場であってほしいです。

「きらきら」でもそうですが、どんなことでも一人だけでは作っていきません。何か、ことを起こそうというときは協力しあって、お互いの力を出し合っただけのこのことを成し遂げていくことが大切だと思います。

内保博仁市長に大いに期待します。

**困難を乗り越え強く生きる**

～人と人 助け合う心 人間としてもっとも大切なこと～

高校生の時のスポーツ事故により車椅子生活に。  
足・手の指も動かないながら幾多の困難を乗り越え、現  
在は夫、3つ子の父親として家族を支えていらっしゃい  
ます。

自らの人生体験を語る講演で、私たちに感動・勇気・や  
る気・元気・夢・希望を与えてくださいました。

**分科会 14:50～**

- 伊賀音楽療法研究会…………… 音楽で心も身体もリフレッシュ
- 伊賀女性の会…………… いよいよ始まる裁判員制度ビデオ上映等
- 新日本婦人の会伊賀支部…………… I LOVE ピース 新婦人でいきいきライフを!
- 大杉弘美とその仲間たち…………… レザークラフト体験、販売
- 男女共同参画情報紙「きらきら」編集G… きらきらなひと時、ポップな気分
- 女性と子どものヘルプライン・MIE…………… デートDVのビデオ上映等

(分科会レポートは、6ページです。)



次回の**“いきいき未来いが”**は、男女共同参画週間に合わせて、  
6月27日(土)あやま文化センターで開催を予定しています。  
同日、三重県内男女共同参画センター3館&5市連携**映画祭**も開催します。  
みなさまの、ご来場ところから、お待ちしております。

# 特集 いきいき未来いが2009

1月31日(土)、ふるさと会館いがにて盛大に開催。紙面にて、その様子を紹介します。

オープニング 12:45～

## ●WAIWAI びおら 寸劇「チェンジ団塊の世代」



市長もサプライズ  
出演！  
皆さん、迫真の演  
技で盛り上がりま  
した。

## ●原谷実行委員長の挨拶

## ●内保伊賀市長の挨拶

### 催し物

- 保育所(園)・幼稚園の絵画展
- 「家族への一言」優秀賞の発表
- UDまちづくりの会“ハートシップ”  
「車いす駐車場に  
停めませんキャンペーン」  
ポスターと作品展示
- 物品販売  
特産物の販売  
(伊賀市商工会所女性部)、  
交通安全啓発グッズ等  
(伊賀地区交通安全協会女性部会)



# 特集 いきいき未来いが2009

分科会レポート 参加された団体の声をそのまま紹介します。

## 音楽で心も身体もリフレッシュ 伊賀音楽療法研究会

ミュージックベルの演奏後、童謡メドレー、崖の上のポニョの体操、少し懐かしい歌謡曲、伊賀市歌と様々なジャンルの音楽で楽しんでいただこうと考えました。

参加者の方々は、歌を歌い、体を動かしていくうち、表情の和らいでいく様子が舞台上からもうかがえました。

また昨年に引き続き参加の方々もおられ、大変うれしく思いました。

「男女共同参画」というと難しく感じますが、みんなが協力し合える社会であるよう私たちは音楽で協力できれば幸いです。

## 動き出した裁判員制度 伊賀女性の会

いよいよ裁判員候補通知の発送も始まり。裁判員になる為の研修が始まった様です。

もし、「あなた」が「私」が裁判員になる日が来た時に、不安がらず、真面目に取り組む心の準備が大切です。

そこで、昨年に引き続き裁判員制度についてQ&Aをパネルにして展示しました。

又、裁判員制度に関するビデオを上映しました。

## 「きらきらなひと時 ポップな気分」 きらきら編集グループ

初めての分科会ということもあり、四苦八苦しながら準備を進めました。

伊賀市男女共同参画紙きらきらの紹介と、私達の願いであるこれからの若い人達にもっと意識を持ってもらおうと、16号で紹介した山下さんがソウルフラワーメンバーとともに、ダンスを披露。

ダンスを見てもらうだけでなく参加して下さった皆さんといっしょにダンス体験をし、楽しく男女共同参画の意識に触れていただきました!!

## 「LOVE ピース 新婦人でいきいきライフを！」 新日本婦人の会 伊賀支部

一針一針丁寧に作った労作のキルト作品、みんなちがってみんないい絵手紙、登山風景など写真で紹介した山登りのロザリアの会、リズム体操と遊びで笑顔いっぱいの親子リズム、戦争体験をまとめた冊子、9条ブローチ、自衛隊基地見学の写真展示・・・いろいろな展示物を通して、いきいきと趣味を楽しみ、平和を語り行動する新婦人を紹介。

手作りコースター・お手玉が大好評!!

皆さんも、新婦人しませんか! (^o^)

## 男女共同参画とは? 大杉弘美とその仲間 ひまわり工房

レザークラフト工房を営んでいる毎日ですが、あまりにも知らなかった事に気がつきました。

初めに知ったとき男女共同参画とは何?

でも今回で3回参加させて戴いてこんなに有意義な時間を過ごす1日である事、そして皆々様との親睦を深めること、そして参画課の他方面の活躍を知ることができました。今後もいろいろな面で参加させていただきたく存じます。

## デートDVについて考えよう 女性と子供のヘルプライン・MIE

若者たちの間で、デートDVの実態が深刻化している。テレビ報道のDVD 3本、予防プログラム1本を流した。真に見入る若い男性の姿もあった。また、50人の方に、ジェンダーDVの意識チェックをした。

DVを容認するジェンダーチェックの中では「男性は強く、女性はやさしく」といった刷りこまれた意識が1/4ほどあった。またDVが起こる原因に「男性側のストレス」「コミュニケーション不足」「生育の問題」が半数以上あった。遠因としてはあるかもしれないが、根本的に問題ではない。きめ細かい啓発を進めていきたいと思いを新たにしたい。

# 男女共同参画活動レポート

## 日本女性会議2008とやま

### 大会テーマ「煌く人とひと連なる峰々」 きらめ

人々の命や健康を脅かす深刻な問題、生活保障の低い派遣社員の問題などが山積する中で、自らの望むバランスの実現が難しいのが今の日本の現状です。

人生の過ごし方、働き方も様々だが、夢を持ち、働く意欲、地域に進んで参加し、仕事と生活に調和を持ち自分らしく生きるために努力する必要について、今自分が生きている人生が間違っていないことを確認できよかった。

男女共同参画社会の実現を目指し、伊賀市の一市民としてさらに努力したい。

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会員  
塚本 五十鈴



平成20年10月17日

## 初！小学生への出前講座。壬生野小学校で！



1月13日（火）壬生野小学校2年生46名と保護者数名の中で『男女共同参画ってなに？』と題してお話をしました。

「男の人」・「女の人」ってどんな人って聞いてみました。体の違いをいう子どもや、仕事の種類で判断する子、自分のお父さん、お母さんや身近な人を思い出しての発言、やはり基本は家庭だと実感しました。また、小学生にも慣習がしみついていることが判り、男女共同参画の推進は、小さいときから必要と痛感しました。

後日、2年生の児童一人ひとりから手紙をいただきました。どんな風に感じてくれたのかドキドキ、ワクワクしながら読ませてもらいました。子どもたちからは、「私は女の子ですが一生懸命サッカーします。」や「男の人料理していいんですね。」など、いろいろな感想をいただきました。

子どもたちは本当に純粋で、一生懸命聞いてくれました。伝える私も一生懸命になり、子どもたちから、たくさん学ばせていただきました。

担当 男女共同参画課  
三根 秀徳

伊賀市では、あらゆる方を対象に出前講座をしています。お気軽に声をかけてください。

出前講座のお問い合わせは、男女共同参画課 電話 22-9632



## 「北欧雑貨を楽しみながら・・・」

娘：ただいま～。

母：いらっしやい。久しぶりね。

娘：あら、お母さんこの壁掛けステキね！  
どうしたの？

母：あ、これでしょ。フィンランドのもの  
なのよ。

娘：もしかして、今流行の“北欧雑貨”？

母：そうそう、このカップも。明るくてシ  
ンプルなのが特徴よ。

娘：何でも流行に飛びつくなんて、お母さ  
んらしくないわね。

母：そうじゃないのよ、“北欧”と聞くと  
どんなイメージ？

娘：・・・ムーミンとか、サンタクロー  
スかな。

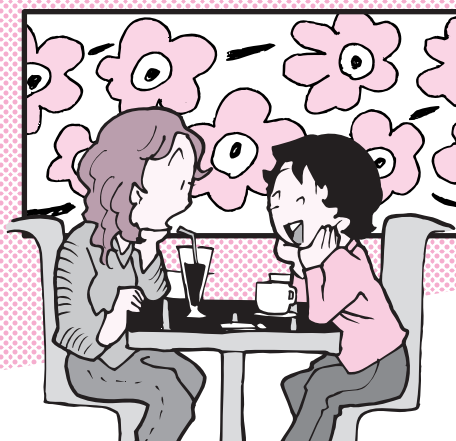
母：私もいままでそうだったけど、興味が  
あったから北欧の本を読んでみたの。  
そしたら、色んなことがわかったの。

娘：例えばどんなこと？

母：「知識量」よりも「思考力」を育むこ  
とが必要とするフィンランド教育。ノ  
ルウェーでは、「パパクオーター制度」  
というのがあって、父親の育児休業取  
得率も89%ととても高いのよ。

娘：“北欧”といえば北欧雑貨だけと思っ  
ていたけど、女性が活躍する、女性が  
働きやすい社会なのね。

母：女性が働きやすい。それは、結果として、  
男性も働きやすい社会になるよね。



## 読者の声

「きらきら」は今まで、何度か見たことがありまし  
たが、今回、知人が編集をしていると聞いて、すごく  
興味が湧きました。

あらためて読んでみて、男女共同参画が身近なこと  
と楽しく読みました。

私の子どもも、ヒップホップが好きです。

“「心」を伝えるダンスを”の山下さんのようにど  
んな状況でも、仲間に助けられて、頑張つて好きなこ  
とを続けられる様になってほしいです。

(30代 女性)

## 編集後記

今回は、「いきいき未  
来いが」の特集を組みま  
した。皆さんに広く知っ  
ていただき、毎年の行事  
を違った目で伝えていく  
必要を感じたからです。

私たち編集員も若い人  
たちに、男女共同参画を  
考えてもらいたい。と思  
い切つて分科会をするこ  
とにしました。

また、市長インタビュ  
ーという初めての特別企  
画もあり、スケジュール  
的にも多少不安もありま  
したが、そんな時ほど結

束力があり、編集員が力  
を合わせることができま  
した。

思い切つてチャレンジ  
したことで何かが変わっ  
た気がします。自己満足  
かもしれませんが、やり  
がいを感じています

(I)

【きらきら編集委員】

岡 久美子 稲増 博美  
竹山佐代子 山本 並美  
三山佳代子

